

文化交流部会のミニバスハイクに参加しました 「習志野は文化の街」を実感した一日

小森良樹

私は、国際交流協会文化交流部会主催のバスツアーに、娘（長女）と2人で参加させていただき、鹿島神宮・香取神宮の2つの神宮に初詣ができたことを感謝しております。

参加した感想は？と聞かれたら、私は「参加して良かった」、「次回も参加させてください」と答えます。

理由は、①娘と初詣ができたこと、②バスの中で娘と楽しく話げできたこと、③新しい知識を得られたこと（鹿島神宮・香取神宮へは初めて参拝しました。また、吉村先生の水に纏わるお話も大変参考になりました）④美味しい日本酒に出会ったこと、⑤何より習志野市国際交流協会を支えていらっしゃる方々と巡り合えたことです。

私の家族は、2006年に津田沼に住居を構え、翌年にはマレーシアに転勤したため、それ程

長く津田沼には住んでおりませんが、大変居心地よく暮らしております。何故なのか？と自問自答したところ、習志野は文化の街だからと気づきました。その伝統が、習志野市国際交流協会の方の立ち居振る舞いから良く理解できました。協会の皆様の献身的な活動が今も目に浮かびます。私もその一員になれる資質を身につけなければと感じました。ありがとうございました。

（余談）

2月18日の夕食は、「水の郷さわら」で購入した肉厚のしいたけにバター醤油をのせた焼き物と、酒造工場で購入した日本酒「仁勇」を堪能しました。更には、頂戴した甘いイチゴのデザート……。とても楽しい一日でした。



鹿島神宮のさざれ石



この日のお土産、日本酒、しいたけ、イチゴ